

下白石東ごみステーション浄化大作戦

下白石東町内会は、年間10指に余る事業を行っています。

平成21年度の特別事業として、「みんなで住みよいきれいな街にしよう」という目標を立てました。

目標の一つに、ごみステーションの浄化があります。

私たちの町内会には、町内会で設置したごみステーションがネット式4箇所、箱形7箇所の計11箇所ありました。箱型で大きなものは巾2間奥行き1間、小さなものでも巾が1間以上ありました。箱型は、曜日に関係なく分別もされずいつもごみの山でした。清掃事務所のごみパト隊の応援を得て、中を調べたところ袋の中身は地域外や市外のものもありました。

ごみステーション付近の住民の話では、このごみステーションのある道は渋滞を避けるための抜け道になっていたようで、時折トラックでごみを捨ててゆく人もいたということですが、怖くて注意することもできなかったと話しておりました。

カラスが散らかした後始末をしても悪臭が鼻をつき不衛生であり、このような状態を目の当たりにして町内会役員が交代で張り番をするなどの提案もあり、思案していたところ「ごみステーションが大きいために、ごみ捨て場のようになるので小型化して分散しては」との助言がありました。

緊急役員会を開催し議論を重ねる中、想像もしなかった意見が出てきました。それは、町内会で設置したごみステーションを廃止し撤去するというものでした。

役員会では会員、マンション・アパート等どのように説明し理解してもらおうかなど、ごみパト隊からのアドバイスを受けながら議論を重ねました。

しかし、案ずるより産むがやすしということでしょうか、役員の心が一つとなり協力体制も整い目標に向かって進むことになり、10月に入ってから文書の作成と発送、相手方との電話の受け答えなど忙しい日々でした。

周知としてはマンション・アパートの管理会社やオーナーさん向けには専用のごみステーション又は保管場所の設置依頼、戸建住宅向けには6～10戸単位でのネット式のごみステーション設置依頼を行い、12月1日からの新方式実施をお願いしました。

マンション・アパートについては管理会社やオーナーさんのご理解と協力をいただき一部12月にずれ込みましたが、ほぼ100パーセントの設置を見たところであります。

戸建住宅につきましてもごみパト隊の応援をいただきブロックごとに説明会を開き、グループ編成、サークル購入などの趣旨を理解いただき12月始めから機能しております。

町内会で設置したごみステーション11箇所は、すべて廃止し撤去されました。

当初計画を立てた時は、果たして成功するだろうかと不安もありましたが、結果は大成功でした。今、町内会はカラスによるごみの散乱もなく、きれいな街になったと皆さんから喜ばれています。計画を立ててから僅か3か月で成しえたのは、住民の理解と協力、公私ともに多忙な中、東奔西走された関係者、町内会役員の方々に感謝するとともに、この素晴らしい町内会に暮らせることを誇りに思っております。

取材担当：山本(茂)



キレイになった町内会！！
(以前は点線のようにごみ箱があった)

第17号

地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行しています。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！



サイクリングロード『からまつトンネル』両面に壁画完成！！

昨年、サイクリングロードの『からまつトンネル』(南郷通17丁目南)の南側の壁に色あざやかな巨大とんぼのモザイク壁画が完成し、行き交う人から好評を得ていました。今年はさらに北側の壁に白石の幻想的な風景が加わり、両方の壁に壁画が完成し明るくてすてきなトンネルになりました。



デザインワークショップ

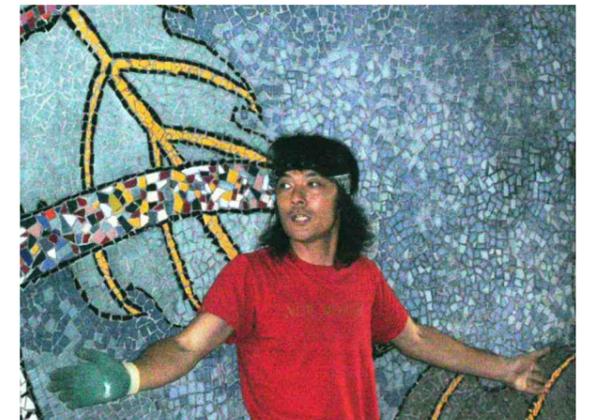
7月23日(金)に壁画のデザインワークショップが開催され、25日(日)から着工。昨年に引き続き、厚別区在住の彫刻家、原田ミドーさんのデザイン・監修・指導のもと、近くに住む方・大谷地小学校などの児童・通りがかりの方など延べ630名が雨風をいとわず参加されたおかげで予定通りに8月7日(金)に完成しました。



大人も子供もみんな一緒に



不思議で楽しい壁画が出来上がりました。 タイトル：『私に繋がるすべてのものへ』



デザイン・監修・指導
彫刻家原田ミドーさん

老若男女を問わず10万枚に及ぶタイルの小片を心一つに1枚1枚張り合わせて完成した風景は、大人と子供の絆をより一層深め新たな思い出になったことでしょう。

このタイルアートによる壁画制作は、地域の大人と子供が触れ合う大変良い機会でした。

これをきっかけにさらに交流が深まることを強く願うものであります。

最後に、白石東地区のサイクリングロードのすべてのトンネルが、みなさんの手ですてきに生まれ変わることを期待しつつ、今回携わって下さった皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

取材担当：松原

取材スタッフ

岩井〔町連〕・長井〔体育振興会〕・中村〔交通安全母の会〕
山本(茂)〔単町〕・大瀬戸〔単町〕・松原〔単町〕・山本(恭)〔単町〕

スタッフ
募集中！

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6

TEL: 011-862-0813 FAX: 011-862-8694

Email: shiroishihigashi@yahoo.co.jp

白石東まちづくりセンター内

(休館：土・日・祝日)

「白石東」スポーツで行こう！

第19回 白石東地区マラソン大会

清々しい太陽のもと第19回 白石東地区マラソン大会が、6月27日(日)白石東冒険公園を発着とした白石サイクリングロードをコースに開催されました。

雨天で中止をした昨年の反動なのか、本大会が始まって以来の出場選手数で、道職員住宅を含め13町内会から小学生男子が68名、小学生女子が36名、中学生以上・一般男女が11名、合わせて115名の選手が参加しました。

大会運営は、各町内会長を始め、振興会、育成委員会、東部地区少年野球連盟などの協力のもと実施されました。

大会役員は、安全確認の為に走路員として、このりカバリ-センターよりAED〔自動体外式除細動器〕を準備しての大会でした。



さっそうとスタートする子供たち

第18回 白石東地区グランドゴルフを楽しむ会

夏空のもと、第18回 白石東地区グランドゴルフを楽しむ会が、7月3日(土)に白石南公園で開催され、10町内会より73名が参加しました。

大会は、3ラウンド24ホールで実施し、70歳代の方が3人も入賞するなど、高齢とは思えない元気ハツラツとしたプレーで、和気あいあいと楽しく交流を深めておりました。

参加者より、秋の大会も楽しみと話す方も多くみられました。



そら、入れ！！

第19回 白石東地区少年野球大会



参加4チームの雄姿

第19回 白石東地区少年野球大会が7月25日(日)に白石東公園で開催されました。

前日までの雨、その合間をぬって出場チームの監督・コーチによるグランド整備、その思いが通じたのか、大会当日は晴天(猛暑)のなか、開催されました。

4チームによるトーナメントで対戦し、優勝は、柏町内会チーム、準優勝が白樺自治会チーム、第3位が大谷地第一町内会チーム、次点は大谷地第二町内会チームでした。



ねらえホームラン！！

決勝戦は1点を争う熱戦で、出場選手は随所に好プレーを見せ、大きな声援もわき、勝利に涙ぐむ保護者もみられました。

決勝戦の審判は、白石東地区体育スポーツ振興会役員で行ない、中島副会長が主審を、一塁塁審には八重樫会長、二塁塁審は野沢運営委員、三塁塁審は柿崎体育指導委員という布陣で、コールもてきぱきと大きな声で審判しておりました。

今後のスポーツ行事の日程について

9月12日 白石東地区町内会連合会主催 第19回白石東地区少年野球新人戦大会

9月18日 第19回 白石東地区グランドゴルフを楽しむ会

9月26日 第18回 白石区民ふれあい健康マラソン大会〔広報白石区ペ-ジ参照〕

10月17日 第20回 白石東地区卓球大会

大会の開催内容は回覧いたしますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。 取材担当：長井

さわやか交流会

今年も7月27日(火)に白石東会館で『さわやか交流会』が開催されました。

この事業は、白石東地区にお一人で暮らされている高齢者の皆さんの交流と親睦を深めることを目的に平成16年から白石東地区福祉協議会の主催で開催されています。

今年も、来賓に白石社会福祉協議会から研光直会長、千葉勇事務局長をお迎えして89の方が参加され、健康な老後を送るための研修、フラダンス鑑賞とみなさんで昔なつかしい童謡を歌うなど、あっという間に時間が過ぎていきました。

取材担当：中村



フラダンスを鑑賞するみなさん

「みんなであそぼう！ at 白石南公園」

「みんなであそぼう！ at 白石南公園」を開催しました！！

7月30日(金)「みんなであそぼう！ at 白石南公園」を、今年も開催しました。沢山の親子や、小学生、保育園の皆さんが遊びに来てくれ、水遊びや伝承遊び、ボール遊びのコーナー等で遊び、ステージでは、保育園の皆さんによる歌や、踊りのアトラクションを元気いっぱい行っていました。・・・が、途中、天気予報にはなかったどしゃ降りの雨に見舞われ、全員一たん木の下や、テントの中、ステージの屋根の下に雨宿り・・・皆、不安そうに空を眺めていましたが、止みそうにないので、仕方なく中止になりました。

「しろっぴー」も今年は一回しか出番がありませんでしたが、子どもたちは大喜びで一緒に写真を撮っていました。



元気いっぱい踊る園児さんたち



どんなお面ができるかな？(お面づくり)

最後に、今回お手伝いをいただいたスタッフの方、学生ボランティアの皆さん雨の中、最後までありがとうございました。

少し小降りになってから、皆さん帰って行きましたが、「さようなら」と声をかけると「楽しかった、また来るから！」と言葉を返してくれた保育園やミニ児童会館の子どもたちがいましたし、東白石中学校のボランティアの生徒たちは「今日はどうもありがとうございました！さようなら！」と礼儀正しく帰って行ったのが嬉しかったし、印象的でした。

雨で中止になったのは初めてでしたが、今回のことが「あの時はあんなことがあったよね～」などと思い出になってくれたらいいなと思いました。ただ、帰ってから風邪をひいたら・・・と心配にはなりましたが・・・。

取材担当：山本(恭)

クリーンアップ大作戦！

昨年に引き続き今年も『クリーンアップ大作戦』が6月25日(金)午後1時30分から3時まで実施されました。

この取組は、平成20年の洞爺湖サミットを機に白石東地区の環境美化を目的として白石東町内会連合と札幌商工会議所附属専門学校の共同開催で始められたものです。町内会の方々、教職員、生徒さんたちが参加し約500名でスタートしたこの事業も3年目となり、今年は、総勢約720名の参加となり地区の1大事業として成長しています。



A-ブロックでの開始前の説明(白石東公園)



一生懸命にゴミを拾う生徒さん

作業は、雲ひとつない炎天下でみなさん額に汗して懸命に清掃を行っていました。3回目の実施となる今年は、先生、生徒さんたちと町内会の方々と和気あいあいと言葉を交わしながら、清掃する姿が見られ良い交流の場となっている事に、続けていく事の意義を改めて感じました。

生徒の皆さん有難うございました。又学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

取材担当：岩井